

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

JUN 2024
年4回WEB発行(1, 4, 7, 10月)

審判委員会トップページへはこちらから →



明けましておめでとうございます
本年も ご協力のほど よろしくお願ひ申し上げます

目 次

第102回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会決勝	P2～P4	2024年度 更新講習会(サッカー) 新規取得講習会(サッカー、フットサル) P19～P20
第28回 全日本フットサル選手権大会 千葉県大会決勝	P5～P7	2024年度 昇級審査案内 (サッカー、フットサル) P20～P23
第47回 全日本U-12サッカー選手権大会 千葉県大会決勝	P8～P11	フットサルの魅力 P24～P25
昇級者のご紹介	P12～P16	女子部研修の様子 P26
J1通算200試合担当	P16	永年表彰募集 P27
地域で頑張っています	P17～P18	休止、降級の方法、その他 P27～P31



第102回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 決勝

2023年11月11日(土)13:10 キックオフ フクダ電子アリーナ
市立船橋高等学校 5(3-0,2-1)1 日本体育大学附属柏高等学校
R:桜井 大介氏、AR1:井村 友哉氏、AR2:柳澤 健太氏、4th:高崎 昇史氏(文中敬称略)

千葉県高校サッカーナンバーワンを決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 井村 友哉さん、桜井 大介さん、高崎 昇史さん、柳澤 健太さん)

入場シーン(以下のリンクをクリックしてご覧下さい)※2024年3月31日まで掲載

↓

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbItkV-YF9_Z4wVW_g?e=9Ut6Sf

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbJ7whiF2all0RMXhg?e=UEi8os

Q : 皆さんに伺います、今日の決勝戦を振り返ってみて、いかがでしたか？

桜井：選手が一生懸命サッカーに集中して下さったので、やりやすく試合も楽しく終わらせることが出来たので、ホッとしました。

井村：そうですね。選手もプレーに集中していましたし、観客も入って雰囲気も盛り上がって楽しかったです。

柳澤：決勝戦で、千葉県代表のチームを送り出すということで、選手達と観ていらっしゃる方達が納得させられるところに着地させられれば良いと思いやっていました。そして、面白かったです。

高崎：緊張しました。無事に終えて良かったです。





Q : 桜井さんは2017年以来の高校選手権決勝となりましたが、どのような気持ちで臨まれましたか？

桜井：あー、2017年以来なんだー(苦笑)。

予期していなかったタイミングでの割当となりましたが、割当をいたいたときから、ちゃんとしっかりしたレフェリングが出来れば！と言うところで、普段は副審が多いので主審の動きだったりを思い出しながら、色々イメージして試合の準備をしました。

Q : 他の方々もどのような気持ちで臨まれたかお聞かせ下さい。

井村：そうですね。緊張シイなので、緊張するなあとは思いつつ、ただ、自分がこれまでやってきたことを普通にいつも通り出せば出来るという自信はあったので、いつも通りの感じで臨めたかな!?と思います。

決勝戦を今年は総体を含めてやらせてもらったので、今年は良い舞台を2つ割当頂いて光栄だと思いますし、応えたいな！との気持ちがありました。

柳澤：千葉県大会の選手権決勝は初めてだったので、緊張するのかな!?と思ったのですけども、思ったよりいつも通りだったので(桜井さんから「素晴らしい！！」)、普段通りやれば問題ないのだろうと思ってやりました。

高崎：普段は、同じ高校生の指導をしているので、千葉県のトップレベルの選手達と同じピッチに立って見られることを楽しみにしていました。



Q : 先の質問に重複することもありますが、この大会の割当をもらったときの心境をお聞かせ下さい。

桜井：頑張らないとなあと思いました(笑)。

井村：決勝の大舞台といらるのはありがたいんですけど、欲を出していけば今度はピッチの真ん中に立ってやりたいとは思っていたので、桜井さんが足を痛めないかな?とは思っていましたが(笑)、真ん中に立ちたかったので今後に向けて立てるよう頑張りたいです！

柳澤：ついに来たな！と思って、楽しみにこの日が来るのを待っていました。準備は怠らないようにしていました。

高崎：3年に1回割当が來るので(一同笑)『あつ、来たな！』と言う感じでした(笑)。





Q : 2年連続で市立船橋高校一日体大柏高校の対戦となりましたが、

審判員として試合の雰囲気をどう感じたか教えて下さい。

桜井：決勝戦はいつもそうだと思うのですが、やっぱり選手がここに向けて準備してきたと言うところを發揮するぞ！と言う雰囲気と観客含めスタンドの方々がそういう試合を期待して、この試合は良い試合になるのだろうなと言うところを期待しているのだなと言うのが、非常に伝わってくる試合だと感じました。

井村：選手一つ一つのプレーに観客の歓声が上がったり、『ワーッ！』と言う声が上がったり、一つ一つ熱のこもったプレーと観客の方も熱のこもった声援があり、スタジアム中が良い雰囲気だったと思いました。

柳澤：応援団がバックにいて、後ろからの音が凄すぎて何も聞こえなかった。近くの笛くらいしか聞こえなかったです（笑）。ちょうどプラスバンドが後方にいたので、選手達はボールに集中してプレーしていると思って見ていました。観客はやっぱり両チームのプレーを観ていますし、中立て観ている方はすごく楽しんで観ているのだろうと思ってやっていました。

高崎：メインの方からは、保護者の『頑張れー！』と言う声がきこえて、保護者が応援に来てくれる部活動というのは良いものだ、と思いました。

Q : 最後に、県内でも注目度の高い選手権決勝戦を終えた皆様に質問です！この大会を目標としていたり、憧れたりしている県内の審判員に対してもメッセージをお願いいたします。

桜井：苦しいこととか、大変なこととか、各自色々あると思いますが、自分自身を信じて努力を重ねて、皆さんこの舞台に立って審判が出来るように切磋琢磨して下さい。私もできる限りサポートしますので、一緒に頑張りましょう！！

井村：県内の仲間達は、ライバルでもあり良き仲間とも思っています。ですので、誰かが蹴り倒すとかではなく（笑）切磋琢磨しながら、お互いのレフェリングを見てアドバイスし合って、みんなで良い方向に向かって上手くなって、県内から関東から日本に！千葉県の中からみんなで行ければ良いかと思っています。

柳澤：年齢問わず一生懸命やっている人が、どこかのタイミングで割当をもらえると思っているので、諦めないで活動していればいつかは来ると思います。

高崎：県の決勝の舞台に立てるのは選手22人と審判員4人の26人なので、このような経験が出来るのは中々選手を引退してしまった後は出来ないので、審判は楽しいですしやりがいがあるので一緒に目指しましょう。



みなさま、ありがとうございました。

おまけ(試合前後の動画)

※2024年3月31日まで掲載

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbJ8InaQZdtg3ZKHlg?e=MVDAM6

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbJ9mvHpIcffuMexXA?e=z5chHB

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbJ-eYWyEDzpzOp5VQ?e=xCQ0cW

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbJ_CewDMgxPmBacZA?e=y5QhUC

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbMANhfZCrMbccCpnw?e=lSq47h

https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gbMBfiwFoXV1qb9-Mg?e=C1LGdH



第29回 全日本フットサル選手権大会 千葉県大会 決勝

2023年11月11日(土)16:45キックオフ ~大網アリーナ~

千葉サッカーカラブ4-2GINGA F.C. CHIBA. MAKUHARI

主審:田口 雄一氏、第2審判:金指 友翔氏、第3審判:小倉 敬右氏、タイムキーパー:綾木 信介氏文中敬称略)



(左から、小倉さん、田口さん、金指さん、綾木さん)

Q : 千葉県1部リーグ所属チーム同士の素晴らしい試合になりましたね！

田口：見どころ満載の試合でしたね！千葉県最高峰を決めるにふさわしい、非常に良い試合が行われたと思います。

金指：熱くなる場面も何点かあったかと思いますが、全体的に見たらクリーンでまとまりのあった試合だと思います。

小倉：試合前から決勝戦にふさわしい良い雰囲気でした。時折、熱くなる場面もありましたが終始両チームが審判団を理解して下さり、プレーに集中していた印象です。

綾木：チーム、メンバーともに素晴らしい雰囲気のチーム同士だという印象を持っていましたが、試合もその通りの熱くクリーンな好ゲームだったと思います。



主審の田口さん

Q : 決勝戦の出来はどうでしたか。

田口：個人的にはアドバンテージの適用が決まればスペルゴラッソ！という場面でロールバックをしたことによって、それが取り消しになってしまったシーンが非常に悔やされます。そんなことがあっても両チームとも試合に集中してくれたので審判チームとしては100点以外つけようがないと思いますが、金指さんいかがですか？

金指：100満点です。全力を尽くせたと思います。試合が始まつて間もなく、ペナルティーエリア付近で選手が倒れ込む場面があったかと思います。あの瞬間、接触があったのか否か判断できなく、中途半端に笛を吹いてしまいました。普段のリーグ戦ではこんなことがめったに起こらない分、一層焦りました。自分の中ではあのシーンが最も難しかったと感じています。

小倉：納得し難い場面、反省しなければならない場面も所々あったかと思いますが、我々としてはその時に出来る最善、最高のパフォーマンスだったと思います。両チームとも協力的でコミュニケーションも取りやすかったので助かりまし

第2審判の金指さん



た。主審が100点とおっしゃるなら100点に違ひないです。

綾木：タイムキーパーとして必要なマネジメントは滞りなくこなせました。推奨される動きは出来たと思います。一方直接でも第3審判経由でもう少し積極的に声掛けしても良かった気がします。インカム欲しい…笑

Q：田口さんと小倉さんはサッカー2級審判員でもありますか、経験は活きてていますか？

田口：間違ひなく活けています。細かいルールに違いはありますが、同じ足を使って得点を取り合うフットボールです。サッカーで教えていただいたことや身に付けたものはフットサルに共通しているものばかりです。

小倉：経験は凄く活けています。当時は2級になってから難しい試合、レベルの高い試合など多くやらせていただけたことや多くの方々のご指導のお陰で、難しい場面において選手やベンチにいる役員とのコミュニケーションの取り方、間合いの取り方などがフットサルでも助かっているので感謝しています。

試合前の小倉さん



Q：ベンチに対応する第3審判という役割で、今日実際に「これは活きたな！」という場面があれば教えてください。

小倉：サッカーで主審をしている時とか、試合の中でこの選手と上手くコミュニケーション取れていれば…この選手をおさえられていれば…いい感じに試合が進行する、ということはありませんか？それと同じで、今日は第1ピリオドのアドバンテージの場面がチームとして一番熱くなったところでしたが、そこからそのチームのキーとなるであろう選手、役員に対してのコミュニケーションに気を付けていたところ、その後もチームが我々とフラットに会話してくれました。

Q：金指さんもサッカー3級と同時並行で割当受けているそうですね。忙しさや難しさがあれば教えてください。

金指：フットサルの試合が先に割り当てられて、あとに続く形でサッカーの試合が割り当てられるので、気づいたら土日が全部埋まってしまったという月もあり、学生の本分である学業との両立が難しいと最近は感じています。

Q：予定が全て埋まってしまった時はどうやって対応したのですか？

金指：気合で乗り切りました(笑)。期末試験シーズンに割当で埋まった時は、本当にやばいと思いましたね。それでも気合でなんとかやり切ることができました。

Q：綾木さんは現役でフットサル選手をしていると伺いました。選手目線等は役立つたりしますか？

綾木：選手の時に分かりやすかったジャッジをそのまま取り入れてみたり、何か事象が発生しそうな場面を予測し易かつたり、いろいろ役立っています。逆に、審判目線が選手の時に役立つ場面も多々あります。審判の難しさが分かるので、判定へのストレスはほぼ無くなりました(笑)。

Q：それはとてもいいことです！選手の中での審判への理解というのは進んでいると感じますか？

綾木：少しずつ進んでいると思います。難しい仕事であることを分かった上でコミュニケーションを取ってもらえる機会も増えました。ただ、良い試合を作る上では相互理解が不可欠ですし、そのために自分もより選手の事を理解し、分かりやすいレフェリングが出来るよう努力したいと思います。



タイムキーパーの綾木さん





Q : フットサルの魅力を教えてください。

田口：屋内スポーツなので天候や季節の影響がないことです！真面目なことは以下の皆さんがある…(笑)。

金指：展開が速いことですかね。ピンチだった場面がいつの間にかチャンスに転じていたりとか、その逆もあったりして、攻守の逆転が試合では連続して発生するので、そこが最大の魅力かと思います。

小倉：自分も田口君と同じく…例えば、雨の日に帰ったらシューズを乾かさなきゃと心配することがないこと(笑)。真面目に言うと、展開の速さについていくのに非常に頭を使うところです。これは選手も観客も審判も皆さん一緒に思います。

綾木：審判、選手、観客の距離が近く、一体になって盛り上がるスポーツであることです。状況変化も目まぐるしく、誰もがヒーローになる可能性があります。また、生涯スポーツとして年齢問わず楽しめるスポーツであることも魅力です。

Q : 最後に代表して主審と第2審判を務めたお二人から県内の審判員の皆さんにメッセージを！

田口：話したいことがたくさんあるので追加で2ページいただけますか？笑(編集部注：ダメです！！！笑)フットサルはサッカーに比べるとまだまだマイナースポーツですが、サッカーの審判経験が必ず活かされます。是非皆さんも私たちと一緒にフットサルの審判活動をしませんか！

金指：割当てご一緒したときにはよろしくお願い致します！

みなさま、ありがとうございました。



令和5年度 JFA 第47回全日本U-12サッカー選手権大会

千葉県大会 決勝戦



2023年11月26日(日)11:00 キックオフ 白井運動公園陸上競技場

柏レイソル U-12 0(0-1,0-1)2 ジェフユナイテッド市原・千葉 U-12

R:池田 浩康氏、AR1:吉川 智也氏、AR2:青木 知道氏、4th:入江 夕梨花氏(文中敬称略)

これまでの暖かさが嘘のような激寒のなかU-12選手権大会の千葉県代表を決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



写真提供社:FANTASISTA

(左から 青木さん、入江さん、池田さん、吉川さん)

Q : 真冬を思わせるコンディションの中、お疲れ様でした。まずは試合の感想をお願いします。

池田：寒かったですね～！両チームとも攻守の切り替えが早く、ハイレベルな戦いを「フィールド内」という特等席で見させてもらって楽しかったです。(笑)

吉川：昨年度に続きJリーグ下部組織チームの対戦になり、コンディション的には寒い中での試合となり、良い状態ではありませんでしたが、両チームともに全力を出しきる熱い対戦になったと思います。

青木：とっても寒く細かい雨の降る中で試合開始、それでも熱い選手達のプレーに引っ張られ、無事に重責を全う出来たことに安堵しています。

入江：とても寒かったです(苦笑)。でも試合直前にインストラクターの方からカイロをいただきました。手のひらと心が温まりました。決勝戦ともなると、選手の熱い思いが強く伝わってきます。この日のために、選手達が準備してきたものを全て出し切ってもらうためにも、我々審判団も背負うものが大きかったです。そんな場に居させていただけた事に感謝しています！



写真提供社:FANTASISTA

Q : 決勝戦の割り当てはいつ頃知りましたか？オファーをいただいた時の気持ちは？

青木：10月半ばに4種割当担当の池田さんから依頼を頂きました。昨年に続き今年も大きな舞台に参加出来ることに興奮したのを覚えています。

吉川：オファーを頂いたのは11月2日で、またこの様な大事な試合に関われるんだ！と嬉しい思いがしました。

入江：ご連絡いただいたのは1ヶ月半前くらい前です。もちろんとても嬉しかったです。「こんな大舞台に、私なんかいいのですか？」と返信いたしました(笑)。

池田：今回、杉本部長代行と相談しながら割り当てを決め、お声掛けさせていただきました。皆さんからは、すぐに快諾のご返事をいただき、スムーズに当日を迎えたことに感謝しております。

Q：池田さん、青木さんは昨年に続いて決勝戦の担当をされました
たが、昨年と違った点はありますか？

池田：打楽器、スティックバルーンを使った応援や得点時の選手と観客の方々との一体感など、スタンドの熱量がすごかったです！数年間なかった応援スタイルが戻ってきたと感じましたし、サッカーの楽しさのひとつに「応援」は、欠かせないものだと改めて感じました。

青木：尊敬する吉川さんと入江さんと一緒に決勝審判を行えたこと、大きな舞台で着用したかった蛍光レッドの審判服。スタンドの両チームの大応援団…対戦したチームは昨年と一緒でしたが、毎回新鮮な新たな気持ちで試合に挑んでいます。



写真提供社:FANTASISTA

Q：入江さんは今回が初めての決勝戦担当だと思いますが、普段通りにできた事とできなかった事は？

入江：審判団のメンバーが良かったのでいつも通り緊張せずに挑めました。

できなかった事ではなく反省した事があります。試合中、4thの足元にAEDがおかされました。その取り扱い方については不安がありました。今回は使用する機会はありませんでしたが、定期的に操作方法を確認しておけば、いざという時に落ち着いた対応ができると思いました。後でインターネットで調べたのですが、動画でわかりやすく説明しているサイトが複数ありました。

Q：昨年は鮮やかなライトブルーの審判服でしたが、今年は蛍光レッドで、しかもこの気温を予想したかのように長袖！どなたが準備したのですか？

池田：昨年に続き、青木さんにご用意いただきました。高身長の吉川さんが着られるかどうか？の確認を今朝したのですが、一番、緊張した瞬間でした(笑)。

青木：そうなんですよ！私が所属している松戸4種審判部のカラー審判服を持参してきました。ただ…持参した審判服のサイズが吉川さんの大きな身体に合うかが心配で、朝一の試着で着用出来ることが判り、池田さんと私のテンションが爆上がりになったんです(笑)。裏方の要素のある審判ですが、見る方に魅力を感じて頂き沢山の審判仲間を作るためにカラー審判服を購入しています！因みに同じ色の半袖もあるんですよ(笑)。

Q：4種は近年8人制が主ですが、11人制と違うところは？気を付ける点などは？

池田：ゴールキーパー以外の選手はインプレー中の交代が認められているので、気づかないうちに選手交代が行われていて、いつの間にか戦術も変わっているようなこともあるので、そこは気を付けています。

吉川：同じく、選手の交代が自由な交代になる為、インプレー中でも交代が出来るので交代選手の把握をする事、チャンスになると縦方向のプレーが数多く行われるのでオフサイドの見極め、ゴール前での攻防が多くなるのでファウルやオフサイドの見極めには気をつけています。

青木：加えて、グランドサイズがフルピッチの半分ぐらいの広さ。キックオフゴールは認められない。キックオフ時に8名競技者がいないと試合は開始されず不戦敗となる。などで、気を付ける点は、競技者の邪魔にならずボールに当たらないようにしながら、できる限り争点には近い位置でレフェリング出来るようにポジショニングには注意しています。

入江：私は4種のガールズ中心に活動していますので、基本的に8人制1人審判です。11人制の時よりフィールドが小さいので、近くでプレーを見る事ができ、得した気分でいます。1人審判の場合は全部を見る事が出来ないため、選手・監督・運営など、1人でも多くリスクペクトしてもらえるように努めています。試合前の挨拶や雑談で協力者を見つけたら、安心してキックオフの笛を吹くことが出来ます。



写真提供社:FANTASISTA

Q : 成長過程にある子どもたちの試合を担当するにあたり心がけていることは？

池田：審判員としてだけではなく、「人」として子どもたちの成長に繋がる対応をすることは大事だと思っています。別の大会の準決勝の話ですが、勝利直後にチーム監督が選手たちに「逆の立場ならどう思うの？」と声をかけていました。すると歓喜していた選手たちは、負けて泣き崩れている相手選手たちに声をかけはじめました。具体的な指示をあえてしない監督も、自分たちで考え、行動に移した選手たちも素晴らしいと思いました。それ以来、私も審判後に負けてしまった選手に直接、声をかけるのは止め、勝利チームに行動を促すようにしており、今日の決勝もそうさせていただきました。

『指導者は選手の未来に触れている』という名言がありますが、『審判員も子どもの未来に触れている』と、少しオーバーかもしれません、そう思っています。

吉川：子ども達にとっては、その時一度しか無い試合なので、子ども達も一生懸命プレーしているので、審判も一生懸命行う事が大事だと思っています。あの判定で負けてしまったと言われないようにレフェリングを行っているつもりです。

青木：私は笑顔でいる事を1番に考えます。選手に高圧的な態度はせずに気持ち良くプレーが出来る環境を作る事が必要だと思います。

入江：大会で緊張しながらプレーしている子は少なくありません。そんな時は、ちょっとした会話をして和ませることがあります。また、知っている顔を見ると安心するそうです。「あっ、あの審判またいる！」と思ってくれたら本望です。かなり微力ではありますが、私が審判活動を続ける理由の一つです。



写真提供社:FANTASISTA



写真提供社:FANTASISTA



写真提供社:FANTASISTA



写真提供社:FANTASISTA



写真提供社:FANTASISTA

Q : 最後に今後の目標は？

池田：自分自身としては健康に留意し、少しでも長く現役を続けて、まだまだ成長できる！？という意欲と勘違いを持ち続けていくことです(笑)。

また今大会の準々決勝と準決勝の計6試合ではユース審判員の方々に笛を吹いていただき、決勝戦では女性審判員として活躍されている入江さんに第4の審判員を担当いただきました。今後も年齢や性別に関わらず、大きな舞台で審判員が活躍できる場の提供に力を入れていきたいですし、自分自身もそうでしたが、お父さん・お母さん・コーチの方々に審判の楽しさを感じて貰い、それが興味に変わって、成長に繋がっていくような活動をしていきたいと思っています。

吉川：今後の目標は、上級審判は無理なので体が動く限り子ども達のために、悔いの残らない試合になるように一生懸命レフェリングを行って行きたいと思っています。又、同じような思いを持ってレフェリングを行ってもらえるような審判が数多くなることを願っています。

青木：4種に関わる審判員の育成、そして自分の体力が続く限り審判員として試合に関われたら良いな！と思っています。

入江：自チームに審判を始めたママさん審判がいます。いろんな試合を経験して、凄く楽しそうにその結果を話してくれます。こういった仲間を、もっと増やしていきたいです。そしてその仲間たちと、何か楽しいことをしていくのが目標です。



みなさま、ありがとうございました。

なお、11月19日(日)に行われた準々決勝と準決勝の試合において、4種委員会のご協力をいただき、ユース審判員を参加させていただきました。全員が主審を担当できて、とてもよい研修となりました。
この場を借りて御礼申し上げます。



左から育成部山崎氏、ユース審判員:北嶋氏・金坂氏・川村氏・高沼氏・黒澤氏・濱田氏・川勝氏、育成部清水氏



昇級おめでとうございます！

【サッカー2級】(順不同、敬称略)

石塚 秀、稲田 俊実、黒澤 航介、郡司 裕右、鹿内 奏良

【サッカー3級】(順不同、敬称略)

大学連盟主催(32名)

阿部 凜、今成 奏太、岩渕 蓮也、白井 遥輝、榎本 直紀、大井 勇人、岡元 佳紀、齋藤 未来、
佐藤 瑠威、柴田 元、白井 寛大、城間 琳、砂間 葉奈、関 友太郎、竹腰 智也、田中 大晴、趙 龍来、
坪沼 倖生、直井 陽平、西郡 寛太、西間木 祐太朗、野崎 大智、花輪 寿一、馬場 文翔、兵頭 悠太郎、
廣田 想羽、福丸 智仁、三島 空、山口 大翔、山戸 建太朗、由井 靖二、由井 陽

2種主催(23名)

伊藤 翼、小野田 大輝、北田 航平、木梨 達也、後藤 優太郎、櫻井 航太、鈴木 慶太、高崎 昂史、
土田 庸、永安 秀充、西倉 ゆうさく、野口 益弘、野村 宙夢、濱小路 光司、松本 大樹、三坂 凌、
宮田 翔平、宮本 真人、向山 大輝、柳川 冬矢、山田 智、山田 慎也、渡辺 哲史

審判委員会主催(16名)

青木 信一、秋山 瑠太、市川 治、内浜 一也、大貫 真人、小口 雅樹、重永 将平、永富 健一、
廣江 正樹 依田 祐紀、渡辺 香難、刈込 慎、木村 怜旺、佐藤 新太郎、清水 雅之、松本 伸夫

サッカー2級昇級者よりコメント



石塚 秀(いしつか しゅう)

この度、2級審判員に昇級させていただきました石塚秀と申します。昇級にあたり千葉県審判委員会の皆様をはじめ、ご指導等、サポートをいただいた方々にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

昇級を目指そうと思ったのは、審判員という立場でサッカーに関わるのも面白いかもしれない、自分が選手であったときには体験したことのないカテゴリーや大会に参加することができるのではないかというのがきっかけです。まだまだ下手な審判員ではありますが、毎試合課題を解決しながら楽しく活動していきます。

お会いしたことのない方やご無沙汰な方が多くいらっしゃると思いますが、ご一緒になった際は宜しくお願ひ致します。





稻田 優実(いなだ ゆうすけ)

この度、サッカー2級審判員に合格することができました稻田優実です。これまでご指導いただきました指導者や審判仲間、そして千葉県サッカー協会審判委員会の皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2級を目指したきっかけは、今まで関わっていただいた2級の皆さんのおかげで、自分自身も変わっていました。これからも謙虚にして真摯に取り組みたいと思います。今後とも変わらずご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



黒澤 航介(くろさわ こうすけ)

この度、2級審判員に昇級致しました、黒澤航介と申します。まず初めに、昇級にあたりましてご協力頂きました審判委員会の皆様、ご指導、アドバイス頂きましたインストラクター、審判員の皆様に感謝申し上げます。

私が審判資格を取得したのは中学2年生の頃だったかと思います。練習試合等で兼任、副審を務めていたら徐々に判定するのが楽しくなり、自ら4級を取得したのが始まりです。高校2年生で3級を取得しましたが、高校3年生までプレイヤーを全力でやっていたため、本格的に割り当てを受け始めたのは実は1年前からなんですね。(実は、まだ19歳の大学1年生です、笑)

2級を目指したきっかけは、私の将来の目標を達成するために逆算した結果、より厳しい世界に1年でも早く身を置き成長したかったこと、千葉県の2級以上の審判員の方々がとても魅力的に感じ、かつよく感じたことがきっかけです。2級になるために、基礎基本の徹底(競技規則の勉強など)を行い継続しながら、レフェリングで「自分の色」をどのように出すかなど、様々なことに取り組んできました。様々なインストラクターの方から「自分の色を、やり方を出せ！」と教えて頂きました。ですが「自分の色、やり方」を見つけるのが難しく、苦戦しました。

(汗) 関東審査の競技規則テストで満点を取ることができました！

今後は2級審判員として相応しいレフェリーを目指すこと、レフェリングもそうですが、立ち振る舞いなども含め、2級審判員として魅力のあるレフェリーになれるよう、より一層努力していきたいと考えています。2級になれば、よりレベルの高い試合を担当でき、良いことも悪いこともありますですが達成感は多くあります。皆さんも上級を目指し一緒に切磋琢磨していきましょう！

試合会場等でご一緒になった際は、積極的に声をかけてください。楽しく審判しましょう！

郡司 裕右(ぐんじ ゆうすけ)

この度、2級審判員として活動させていただくことになりました郡司裕右です。昇級にあたり千葉県サッカー協会審判員会の皆様及び審判仲間の皆様にこの場を借りて感謝を申し上げます。

審判活動を始めたきっかけは、子供が地元のサッカークラブでお世話になる際、私もコーチをやらせていただくことになり、審判資格が必要になったからです。その後、子供が中学生になったことで審判をする必要が無くなりました。同じ世代の子供たちの試合の審判を続けたいと思い、3級を取得し割り当てを受けるようになりました。

2級を目指そうと思ったきっかけは、育成部の清水賢一郎さんに「2級を目指してみなよ！」とお声を掛けていただいたことです。(清水さん、覚えていますか？！) 2級昇級という新たな目標を持ち、そこへ向かってチャレンジすること、また、皆様から頂いたアドバイスを自分なりの方法で試合に落とし込めるよう試行錯誤することに楽しさを覚えました。強化部の村

上勝則さんから「お父さん審判に毛が生えた程度」と言われ一週間ぐらい落ち込んだことがありました。(笑)、何とかここまで来ることができました。

今後の目標は、試合の流れを大切にし、各試合のゲームレベルに合ったレフェリングができるようになります。毎試合目標を持って取り組み、考えることを止めず、少しづつでもやれることを増やしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



鹿内 奏良(しかうち そら)

この度、2級審判員として活動させていただくことになりました鹿内奏良です。まず始めに、昇級にあたり千葉県サッカー協会審判委員会の皆様及び所属している我孫子市審判委員会の皆様に感謝申し上げます。

私が審判活動を始めたきっかけは、中学生の頃に部活の練習試合などで副審を務めることが多く、選手とは異なった視点でサッカーを見るのが楽しい！と思ったからです。4級を取得した時は資格は取ったけどどこで活動を行えば良いのかわからず、あまり審判をできていませんでした。活動方法や上級審判員になる方法を知ったのは高校1年生の時で、当時の担任の先生が2級審判員だということを知り、千葉県サッカー協会や我孫子市サッカー協会に所属することを教えていただきました。もし、先生が担任でなかったら、2級に昇級する自分はもちろん、審判活動を続けている自分すらいなかつたかもしれません。

2級を目指したきっかけは、ワールドカップで笛を吹き、世界で有名な審判員になりたいと思ったからです。ワールドカップで笛を吹くためには、国際審判員にならなければなりません。その大きな目標に近づくために、2級審判員に昇級し、自身のスキルアップをする必要がありました。

今後は選手やスタッフ、サッカー協会の皆様、同じ目標を目指している仲間に感謝を忘れず、精進してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします

サッカー3級昇級者よりコメント

木村 怜旺(きむら れお)

市川市審判委員会で活動している木村 怜旺と申します。昇級するにあたり、中学時代の部活動の顧問、所属させて頂いている市川市審判委員会の皆様には感謝申し上げます。

私が審判員を始めたきっかけは中学時代に練習試合で審判員をする機会があり、責任ある役割にワクワクしたことからです。そこから大学生になり、再びサッカーに関わりたいと思い、市川市審判委員会に所属させてもらいました。

3級に挑戦したきっかけは、より競技を深く理解し、技術向上を図りたいと思ったからです。今後も謙虚さを忘れず、審判活動に励みたいと思います。よろしくお願ひ致します。



渡辺 香雫(わたなべ かんな)

この度3級審判員に昇級いたしました、千葉東高等学校2年渡辺香雫です。私は幼い頃からサッカーが大好きで、高校生になった今もよくスタジアムへ行き試合を観戦します。『私もJリーグの舞台に立ちたい！』ある時そう思ったことがきっかけで審判に興味を持ちました。それから高校でサッカー部のマネージャーとしてより近くでサッカーに携わっていくうちに、もっと多くの人々にサッカーの楽しさや魅力、更にはJリーグをはじめとした日本サッカーの魅力を知って欲しいと思うようになりました。そして現在に至ります。



自分の大好きなサッカーに関わり、選手や試合の関係者、応援してくださる方などと共に試合を作り上げる喜びを感じられる審判は私にとってとても魅力的なものです。3級取得は通過点に過ぎません。これに満足することなく、もっともっと上を目指していきます。

そして最後に3級を取得するにあたりご協力いただきました、顧問の先生方、千葉東高等学校サッカー部の皆さん、家族、更にはこのような場を設けてくださいました千葉県サッカー協会の皆様に感謝申し上げます。



青木 信一(あおき しんいち)

この度、3級審判員として活動させて頂くことになりました青木信一と申します。審判昇級に際しましてご指導及びサポート頂きました浦安市サッカー協会4種審判部の皆さん、コーチ仲間の皆さん本当にありがとうございました。

私は浦安市4種高洲SCホッパーズに所属しておりコーチ歴は16年になります。今回3級審判資格取得のきっかけは、3級審判を保持している八塚コーチから審判の役割・面白さ・奥深さを教えて頂き、強く意識するようになり歳(52歳)も気にせず3級昇級にチャレンジ致しました。選手達に対して更新されるサッカーのルールをしっかりと伝えていく事もコーチの大切な役割だと今は痛感しております、今まで自分自身がルールの認識が甘かった事を深く反省しております。

今後は経験を積み重ねながらしっかりとレフェリーの持つべき知識、役割を学び、判断技術を向上させて選手達が試合を存分に楽しめる環境を提供出来るよう自分自身も楽しみながら精進してまいりますのでご指導をよろしくお願いいたします。



秋山 瑞太(あきやま りゅうた)

この度、3級審判員に昇級いたしました、船橋市審判委員会の秋山瑞太と申します。はじめに、3級合格までにご指導してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

自分が審判に興味を持ち始めたのは、中学生のときでした。友人が主審をしているのを見て自分もやってみたいと思い、笛を買って練習試合で主審に入らせもらったりしていました。そのうち、船橋市で行われているレフェリートレーニングに誘われ、そこで審判の難しさを肌で感じました。そして、もっと深く学びたいという気持ちが湧き、その後のトレーニングにも参加するようになりました。大学生になって、自分のレフェリングを向上したいと思い昇級を決意しました。

今後は、船橋市審判委員会山田委員長の「船橋市からJリーグ審判員を！」という目標に貢献できるよう、精一杯努力していきます。最後にこの場をお借りして、船橋市審判委員会では毎月船橋アリーナでレフェリートレーニングを実施しています。審判に興味のある方、技能を高めたい方、ぜひお越しください。今後ともよろしくお願いします。



【フットサル3級】(順不同、敬称略)

横井 幸汰

フットサル3級認定者よりコメント



横井 幸汰(よこい こうた)

この度フットサル3級になりました横井幸汰です。フットサルの審判になった動機は、日本のフットサルを盛り上げて日本のフットサル協会が世界と肩を並べられるよう手助けをしたいという思いから審判になりました。

3級を目指そうと思ったきっかけは、近々2級、1級を取得し将来的にはフットサルの解説者を目指す為の通過点と思っております。今後、主審として荒い試合でも完璧なゲームコントロールを行い、選手達にリスペクトされる審判になりたいと思います！！



今後のご活躍を期待いたします！！



千葉県所属1級審判員の五十嵐泰之さんがJ1通算200試合担当を達成いたしました！

「おめでとうございます！」これからも活躍を期待しています。

今日も地域で頑張っています！！



～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～



2023年10月22日(日)

白井シニアカップ

～白井市白井運動公園陸上競技場～

千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は白井市で開催された白井シニアカップで各市からの審判依頼で頑張っている皆さまにインタビューをしました。

①：氏名(敬称略)

②：審判歴

③：審判になったきっかけは？

④：審判活動で印象に残っていること

⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？



①：伊藤 忠邦(いとう ただぐに)

②：約11年です。少年団のコーチをしていることから、審判活動のほとんどを4種のゲームでしてきました。

③：息子が地元の少年団に入団したことからお父さんコーチとなりましたが「大会に参加するためには資格を持った審判の帯同が必要なんだよね～！」とプレッシャーを受けて(笑)審判となりました。

④：U-8のミニサッカー大会でレフェリーをした際、自ら出したボールを取りに行った選手にグリーンカードを出したところ、その選手のチームがものすごく盛り上がっていったことがとても印象に残っています。4種の大会では積極的にグリーンカードを出すようにしようと思うきっかけとなった審判活動でした。

⑤：必死にプレーする様子やベンチにおいては聞こえてこない声の掛け合いを選手達の間近で見聞きし感じられること、そんな選手達に応えるべく責任を持ってジャッジすることが審判の魅力だと思います。審判となったきっかけは前向きなものではありませんでしたが、今では審判になって良かったと思っていますし、今後も4種に限らず3種でも審判を続けていければと思っています。

①：金丸 博孝(かねまる ひろたか)

②：約17年です。(3級取得後、8年)

③：子供がサッカースポーツ少年団(我孫子隼SC)に入団したことからパパコーチとして手伝うようになり、大会で審判資格が必要な為、取得了しました。3級を目指したきっかけは、自身がプレーヤーとして地域のシニアリーグに参加するようになり、大人の試合で笛を吹くようになったからです。試合で起こる現象を、正しく、明確に判断することの重要性や、コミュニケーションの大切さを改めて強く感じ、もっと勉強が必要と考えました。

④：3級取得後、「千葉県女子サッカーリーグ(2部)」での実技研修に参加したことです。

3級として最初の試合で、また大人の試合も初めてだった為、とても緊張していたのですが、選手達が楽しそうに笑顔でプレーしている事がとても印象的でした。審判中も清々しい気持ちになり、もっと試合が続けば良いと思っていました。仲間だけでなく、相手チームや審判へのリスペクトも素晴らしい、プレーヤーとしても見習いたいと思った試合で、とても印象に残っています。

⑤：プレーヤーの一番近くで試合を見されることです。テクニックや激しいせめぎ合い、思いもよらぬプレーなどを間近で見ることができ、ピッチの外からとはまったく違う試合の見え方が出来る、特等席ではないでしょうか！



① : 高津 浩司(たかつ ひろし)
② : 18年になります。
③ : 当時勤めていた会社で、サッカー好きな人が立ち上げた草サッカーチームに、高校の体育授業以外サッカーに関わったことが無かったのに、サッカーをやってみたくて参加したことがサッカー審判になった遠因です。チームの発起人が対戦相手を探してきては互助審判で楽しむ草サッカーで、おそらくファウルに対しても大らかだったのか、笛を吹かれた覚えはあまり無いのですが、私は色々なファウルを犯していたのでしょうか(笑)。チームの忘年会で「高津さんサッカーのルール知らないですよね。審判資格取得の講習会に参加すると一通りのルールを教えてくれるので、行ってください！今のままで試合になりません。」と半ば強制的に審判資格を取得させられました。そして当時、親は全く関わらない地元少年サッカーチームに所属していた息子が、私が審判資格を取得したことをコーチに話したことから帯同審判活動が始まりました。

④ : 帯同審判を続けていると、「その判定は？」と思う場面も出てきて、もう少し勉強しようかと3級審判員の資格取得にチャレンジし、その後初めて派遣審判を務めた(確か副審は派遣では無かった)ときだったと思うのですが、カードを出すべき事象でカードを出せなかつたことです。審判仲間にその時の状況を話したところ、「その場にいなかったから絶対とは言えないけれど、限りなくレッドカードに近いイエローカードだったかもね！？でも試合終了の笛は吹けたんですよ。無事に試合が終わることが大切だよ！」と。
⑤ : プレーヤーとコミュニケーションを取りながら試合を楽しめることだったり、強制的に運動できることだったり、上記印象に残っていることに書いたように色々な学びがあることだったりと、審判の魅力は沢山ありますね！



① : 中野 康之(なかの こうじ)
② : 今年で15年目です(割当は10年目です)。
③ : 息子の少年団入会に合わせてお手伝い感覚です。
④ : U-15 1部リーグの主審中、両ふくらはぎが轢ってピッチに倒れ込み、生まれて初めて担架に乗せられて退場した事。
⑤ : 顔見知りが増え、初めての割当会場でも知り合いが必ずいるようになりました。仲間が増える事がうれしいです。年齢の割には走れるなーと感じる時。もう少し続けたいなーと思う充実感です。



2023年度更新講習会のお知らせ(サッカー)

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

千葉県サッカー協会では、サッカー3級・4級審判員の資格更新はインターネットに接続して行うJFAラーニングでの更新を推奨しています。

ここでお知らせする講習会は、インターネット環境が整っていない審判員を対象に、次のとおり対面式の講習会を開催します。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべてKICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、会場に駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

4級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2024年2月17日 (土)	9:30 ~ 10:00	10:00 ~ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550
2024年2月25日 (日)	9:30 ~ 10:00	10:00 ~ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550

3級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2024年2月4日 (日)	13:00 ~ 13:30	13:30 ~ 16:30	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥6,900 ユース ¥2,050

2級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2024年1月28日 (日)	17:00 ~ 17:30	17:30 ~ 20:30	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥14,600

2024年度サッカー4級審判員新規取得講習会のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

次のとおり講習会を開催しますので、詳しくは審判委員会 ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて KICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。
できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

●サッカー4級審判断規取得講習会●

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人員	駐車場	講習会費
3月2日 (土)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ 科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
3月20日 (祝)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ 科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500
3月24日 (日)	9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 16:00	講義	スポーツ 科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥7,080 ユース ¥1,500

2024年度第1回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ

1 受験資格

(1) 2024年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)4級審判員として登録していること。

※申込み時に15歳以下の者が審査に参加する場合は、親権者の同意が必要。

(2) 3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判派遣に積極的に従事する意思があること。

※上記の意思が確認できない場合、2次審査の参加を認めない。

(3) 次の審判実績のいずれかがあること。

① サッカー4級審判員として10試合以上の実績があること。

(ア) 10試合以上の実績のうち、主審が8試合以上であること。

(イ) 4種の試合(8人制含む)は、1日2試合までを限度に審判実績として計上できる。

※例として、同じ日に4試合主審を担当しても、審判実績は2試合分だけしか認めない。

(ウ) フットサルおよびビーチサッカーの審判実績は計上できない。

② 顕著なサッカー歴を有している者。

※本項目については、千葉県協会が判断する。

(4) その他

① この審査を受験する1年以内に健康診断を受け、審判活動に支障がないこと。

※職場、学校等の健康診断を含む。健康診断を受けていない場合、2次審査の参加を認めない。

- ② 受験者は、審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- ③ 3級審判員に昇級後の審判活動に従事中の事故については、千葉県協会が加入する審判障害保険の範囲内で補償されるが、各自でスポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

2 審査基準

(1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 1次審査(書類審査)

次に掲げる書類を提出すること。

① 参加申込書(1次審査書類)に必要事項を記載。

※審判委員会ホームページの様式集(昇級審査の申込用紙)から「サッカー3級」の申込書を選び使用すること。また、記入例を必ず読むこと。

② 審判実績確認:レフェリーズダイアリーまたはレフェリーノートの審判記録のコピー提出による。

(3) 2次審査(筆記試験および体力試験)

1次審査合格者に対して、次の審査を実施する。

① 開催期日 2024年4月野田市総合公園(陸上競技場)で調整中

② 筆記試験 競技規則に関するもの。合格基準 80点以上。

③ 体力試験 75m走(25秒)-50m歩(30秒)×24本

④ 講義 合格者に3級審判員として必要な講義を実施する。

※詳細が決定し次第、KICKOFFに掲載します。

2024年度 第1回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ

この推薦予備試験は2024年10月(予定)に行われる(一社)関東サッカー協会(以下「関東協会」)2級昇級試験のための予備テストです。

フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1 資格要件

(1) 受験資格: 2024年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)サッカー3級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績を有していること

①フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。

※ 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものと計算する。

②サッカー2級審判員

(3) 健康など

1. 認定審査受験日前1年内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
2. スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

1. フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や関東協会、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2 資格審査

(1) 関東協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3 推薦審査

● 第1次審査；書類審査

- ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出

審判委員会サイト(<http://cfa-referee.lollipop.jp/>)へ→



● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

・2024年4月予定

・筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上

・体力試験

1 Speed2×20Recovery90秒 男子 3.60 女子 3.90

2 CODA 男子 10.30 秒 女子 11.30 秒

3 ALIET 男子 Level14-5/885 女子 13-6/390

・講義『2次審査合否発表後』

合格者に第三次審査の説明を実施する

● 第3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施

・3試合実施する。

3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4 申込方法

① Webでの申込手続きを完了させてください。

推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES' DIARYまたはFUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申込みをしてください。

② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2024年度 第1回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ

2024年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1 資格要件

- (1) 受験資格：2024年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー(以下「千葉県協会」)3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること
 - ①フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ②サッカー3級審判員。

(3) 健康など

①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。

(職場や学校などの定期健康診断を含む)

②スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2 資格審査

(1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3 認定審査

● 第1次審査：書類審査

①審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。

②昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出



審判委員会サイト(<http://cfa-referee.lollipop.jp/>)へ→

● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

・2024年4月予定

・筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上

・体力試験

1 Speed 2×20(Recovery90秒)男子3.70秒女子4.00秒

2 CODA 男子10.40秒女子11.40秒

3 ALIET 男子14-2/780 女子13-3/300

・講義(合否発表後)

合格者に3級審判員として必要な説明を実施する

後日、新3級審判員講習会を実施する(実技及び講義)

4 申込方法

① Webでの申込手続きを完了させてください。

昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在)の顔写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREEDIARYまたはFUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。

② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。



フットサルの魅力②

～千葉県選手権決勝戦に潜入！強化審判員について～

フットサル連載の第2弾！今回は千葉県最高峰の戦いである県選手権の決勝に潜入しつつ、強化審判員について更に深堀りしました。

連載第1弾はこちら！

目 次

- ① 千葉県選手権決勝戦！
- ② 室田部長と木村さんに聞く！県強化審判員、とは？(後編)

① 千葉県選手権決勝戦！

正式には「第29回JFA全日本フットサル選手権大会千葉県大会」と呼ばれます。決勝戦を担当した4名の審判員のインタビューも掲載しておりますのでご参照ください！

2023年の千葉県No.1を決めるこの試合は熱く激しいものになりました。

・県リーグ勢同士の熱い戦い！

大網アリーナで行われた県選手権ファイナルは千葉県リーグ所属チーム同士の戦い。準決勝と決勝が同日に行われるダブルヘッダーのタフな状況で行われました。



・1点を争う好ゲームは千葉サッカーカラブに軍配！

先制された千葉が同点に追いつき直後に逆転して突き放す好ゲーム！今季の千葉県リーグ2位の千葉が見事に優勝を果たしました！得点王は千葉の水野選手(6得点)となりました。

・惜しくも準優勝のGINGA F.C.と3位のFC mmも関東大会へ！

GINGA F.C. CHIBA. MAKUHARIと3位決定戦に勝利したFC mmも、優勝した千葉、関東1部所属のO-PA、バルドラー浦安セグンドと共に1月に行われる関東大会に進出します。

② 室田部長と木村さんに聞く！強化審判員、とは(後編)

前編まとめ(強化審判員の狙い)

- ・千葉から1級審判員を出すために年間を通じた3級の強化の場を設けている
- ・2級に上る=1級候補として関東で吹けるレベルに2級昇級時点で育成したい

--1級になるために重点を置いていることを教えてください。

室田：「何をすれば1級になれるのか」は正直わからないです。繰り返しになりますが、だからこそ基本を徹底させること、そのための研修です。数分見れば「フットサルを知っているか!?」はすぐわかります。しっかりと経験を積む機会を用意したいと思っています。

木村：上級を目指す経験の浅いレフェリーにとって、いろいろな情報を与えることは本人にとっても大きいと感じています。本当はそれも自分で行なうことが普通かも知れませんが、もう少し手助けがあれば大きな変化がある事もあると思っています。そんな手助けができたら！と思っております。



室田フットサル部長

--少し話を変えて、千葉のフットサル全体のいいところや課題は何でしょうか。

室田：何よりも試合が多いです。それに対して審判員が少なく、いつも同じメンバーで試合を担当します。だからこそ選手と顔見知りになること多く、サッカーよりも選手との距離が近いかも知れません。私自身もサッカーの審判員もしていましたが、そこは驚きを感じた部分です。

--やはり審判員が少ないんですね。

室田：そうです。強化のメンバーにもサッカーからの転籍組もいますので、大切に育てたいという部分も多い。審判員の分母が少ないので、研修も審判員に合わせることが多く、だからこそ審判員自身が「恵まれている」と感じる部分もあるのかも知れません。

--フットサル審判界の青写真を教えてください。

室田：強化で言えば、関東に上がった際に「千葉から来る人は凄いね！」と言われるレフェリーを出したいです。強化について、割当等の実務的なことは現役の関東強化審判員である木村さんにお任せしています。また今は強化の話ですが、やはり人数を増やす部分も必要で、具体的には倍くらいには増やしたいですね。選手が若いので、サッカーに多い「お父さん審判」が少なかつたりするので、どうやって審判員としての最初の一歩を踏み出す環境を整えるかも大切だと思います。

木村：「トップレフェリーとして1級チャレンジできるレフェリーを育成すること」「各カテゴリーにおいて十分な能力を持って楽しんでレフェリングできること」「サッカー・フットサル・ビーチサッカー、年齢や職業に関係なく、多くの方がレフェリングを楽しめること」の3点です。強化の割当は担当していますが、私自身の試合も多く、現場で活動いただいているのは櫻田さんや室田さんです。お二人の助けがなければ実現しなかったので、このタイミングは運が良かったですし、周りにも恵まれました。



強化担当の木村さん

--最後に強化のメンバーについて教えてください。

木村：合計5名です。サッカー2級審判で強化メンバーだった小倉さん、田口さん。大学生でサッカー3級審判としても活動している金指(かねさし)さん。

室田：綾木さんは現役でフットサルプレーヤーですね。菱沼さんは神奈川からの移籍で、私の職場の同僚です。

木村：基本的に強化は希望すれば誰でもウェルカムです。3級審判員であることとやる気があることが条件です。実は審判員や県内の帯同審判員でもある選手たちも10月号の前編を見た方がいる様子です。取材でモチベーションが上がっている審判員も居りますので、是非5人にも話を聞いてみてください！

記事をご覧いただいている選手や審判員がいるのは嬉しいですね！次回は強化審判員5人に直接お話を伺います。



2023年度の研修会(女子部)

女子部の今年度の研修から二つをご紹介します。

【初心者座学研修会】

日 時 8月6日(日)9:30~12:00
場 所 幕張勤労市民プラザ
参加者 3名 (4級3名 内、今年度4級新規取得2名)



審判活動を行うにあたっての基本事項の確認(競技規則や主審の動きについて等)を行いました。初心者研修ではありましたが、3名とも積極的に参加をしてくださいました。3名ともお一人での申し込みでしたが、研修が進むにつれて打ち解けた雰囲気になり、スタッフにとっても楽しい研修になりました。参加してくださった皆様、ありがとうございました。

【観戦研修】

日 時 12月9日(土)11:00~15:30
場 所 ゼットエーオリプリスタジアム
参加者 11名
内 容 WEリーグの観戦研修

県内所属の1級審判員から、試合を見ながらリアルタイムで解説を聞くことができる研修です。集合時間が試合開始の1時間半前でしたが、それによってピッチインスペクションから見ることができました。実技研修や座学研修では得られない貴重な体験だったかと思います。来年度も開催予定ですので、女子審判員の皆様、たくさんの参加をお待ちしています。



永年表彰のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2024年4月1日現在で20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。表彰式は5月の審判委員会の前段で行う予定です。参加できる方はお願ひします。該当する審判員の方(自薦他薦を問いません)は、2月18日(日)までに氏名、住所、電話番号、e-mailアドレス、登録年月、審判登録番号、活動状況を下記のメールアドレスまでお送りください。(書式は問いません。メールにベタ打ちで結構です)



e-mail : cfarc.somu@gmail.com (担当 長谷川)

《休止・降級の方法》

審判資格を休止したい方、2級から3級または3級から4級など降級を希望する方は、下記の手順で申請をしてください。

(1)休止申請

- ①更新講習会は、受講しないでください。
- ②休止する理由(長期療養・長期海外出張・その他)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。
休止申請書の記載内容(書式はありません。タイトルを「休止申請届」として下さい。)
 - a. JFAID
 - b. 審判番号
 - c. 氏名
 - d. フリガナ
 - e. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)
 - f. 休止理由
 - g. 休止期間
 - h. 休止期間中の連絡先電話番号(必ずつながる電話)

- ③休止復活する際は、(公社)千葉県サッカー協会に電話連絡してください。

(2)降級申請

- ①現在の級での更新講習会は、受講しないでください。
※更新講習会を受講されてしまった場合は、降級できません。
- ②降級申請書(書式はありませんタイトルを「降級申請届」として下さい。)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

降級申請書の記載内容

- a. JFAID
- b. 審判番号
- c. 氏名
- d. フリガナ
- e. 降級希望の級
1級→2級、1級→3級、1級→4級
2級→3級、2級→4級
3級→4級
- f. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)

※降級申請した後で元の級に戻るには、現状の昇級審査が必要となります。

1級の方が4級に降級された場合は、3級の昇級審査に合格し、2級の昇級審査に合格し、

1級の昇級審査に合格いたしませんと元の級(1級)に復活できません。

(3)申込方法

①申込期間：2024年2月20日まで

②申請書送付先

〒260-0013 千葉市中央区中央3-9-16大樹生命千葉中央ビル1階

公益社団法人 千葉県サッカー協会 審判担当 宛

※不明な点がございましたら、直接(公社)千葉県サッカー協会 電話043-310-4888 に連絡してください。



「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張って活動しているレフェリーを取材に行きます。

例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。

情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしています。

メールアドレス:cfarc.somu@gmail.com



～2023年度の審判資格更新について～

〈3級・4級 サッカー・フットサル審判員〉

審判委員会としましては今年度の審判資格の更新方法につきまして、「JFAラーニング」を利用しての資格更新を推奨致します。

※2級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、KICKOFFメール等で案内しています。

〈JFAラーニング〉

JFA KICKOFFにログインしていただき、

1、「審判」をクリック。

2、「講習会・研修会」をクリック。→「講習会・研修会申込み」をクリック。

3、「更新講習会」を選択。

4、「検索」をクリックし「JFAラーニング」を選択して下さい。



JFAラーニングについては下記、URLを参照してください。

<http://els.jfa.or.jp/info/referee/invitation/html/>

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。

※「JFAラーニング」の受講期限超過により受講完了されなかった場合や更新講習を受けられない場合は、
2023年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

～JFA Passportについて～

【重要：審判員・審判インストラクターの皆さま】JFA Passportに関する重要なお知らせ

審判証・審判インストラクター証のJFA Passport(JFA公式アプリ)での表示について2024年1月より、これまで使用して頂いていたKICKOFFアプリ(登録証表示アプリ)の全ての機能が、JFA Passportへ移管され、審判証・審判インストラクター証のJFA Passportでの表示が可能となります。

JFA Passportをまだご利用でない審判員の皆さまは、お早めにJFA Passportをダウンロードの上、ご利用頂けるようお願いいたします。

※PC版KICKOFFは変更なくご利用頂けます。

※現KICKOFFアプリは、2024年内にサービス終了予定です。

※本機能移管による大会運営等のオペレーション変更は必要ございません。

(JFA Passportのダウンロードはこちら)

<https://www.jfa.jp/jfapassport>



下記QRコードよりアプリを無料ダウンロード！
※お手持ちのスマートフォンからQRコードを読み込んでください。
※アプリのすべてのコンテンツをご利用いただくにはJFA IDの登録が必要です



QRコードからダウンロードして携帯からコンテンツを閲覧できます。(初回のみJFA IDでログイン)

↓ログイン後の操作画面



※Movie(動画)では、審判報告書の記入の仕方など、様々な基本的対応や進め方を紹介しています。



広告主さま募集しています

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
 - ・この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。



編集後記

昨年の5月にコロナ感染症が5類に引き下げられ、コロナ前の状態に戻りつつありますね。

千葉県内で計画されている試合数も年々増加傾向にありますので、県内で活動されている皆様のご協力には日々、感謝しております。
まだまだ、寒い日が続きますので、日頃のトレーニングや試合前の準備をしっかり行い、怪我をせずに審判活動をお楽しみください。(Kane)

レフェリーニュース編集担当

高野 祐介

E-mail : cfarcsomu@gmail.com



長谷川 鉄哉

渕上 祥太

金子 秀之

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>



Facebookもチェック



[千葉県サッカー協会 審判委員会\(発信専用\) - ホーム | Facebook](#)

<https://www.facebook.com/ChibaFA.rc>